

横須賀市地球温暖化対策地域協議会
平成29年度第2回理事会 議事録要旨（抜粋）

1 日 時 平成29年10月25日（水） 10時00分～11時30分

2 会 場 ヴェルクよこすか 第8会議室

① 議題1 協議会の運営及びプロジェクトチーム（以下、「PT」という。）の活動について

- ・再生可能エネルギー普及促進PT（以下、「再エネPT」という。）の理事（以下、「A理事」という。）から電力中央研究所（以下、「電中研」という。）あてに横須賀市地球温暖化対策地域協議会（以下、「協議会」という。）の運営に関する文書が送付され、また、同理事から事務局あてに理事会における協議・決定に関する文書が送付されてきたため、その内容について電中研の横須賀運営センター所長である会長及び事務局から説明を行った。
- ・再エネPTについて、今年度の上半期事業実績及び下半期事業計画がない状況から、今後の再エネPTのあり方について、理事の皆様からご意見をいただきたい旨を事務局から説明した。
- ・出席している再エネPTの理事から再エネPTの現状について説明を受けた。
- ・A理事からの文書への対応及び再エネPTの今後の活動について、事務局から対応案を提案し、理事会で承認された。
- ・質疑応答は次のとおり。

（理事）今年度は再エネPT内で話し合いをあまり行っていない。従って、再エネPTの活動方針について、この場では回答できない。

（理事）再エネPTで話し合いをあまり行っていないのであれば、チームとして体を成していないのではないか。

（理事）再エネPTの存続・あり方を考えた方が良い。再エネPTは創立以来、活動実績がなく成果が出ていない。

（理事）電中研あてに文書を出すなどの一連の行為は常識として考えられない。これらの行為について理事会に出席して説明するならともかく、今日の理事会を欠席しているので議論の対象にならない。

（理事）事務局への文書の中で、平成29年度の下半期事業計画について、上半期と変わりはないとあるが、再エネPTの事業計画については、前回の第1回理事会で当初の事業計画はなしと決定したので、それを守れないのであれば、ガバナンスやコンプライアンスを主張する以前の問題で、理事を務めること自体が問題なのではないか。

（理事）再エネPTとして今後事業計画を作成できるのか、それが議論のポイントである。それが判断できないのであれば、チームとして体を成していない。

（理事）再エネPTで話し合いをしていないということは、リーダーがチームの必要性を感じていないのではないか。

（会長）事務局としてはどう考えているか。

（事務局）理事の皆様から様々な意見が出たが、本日理事の皆様からの意見等を事務局からA

理事へ文書で報告し、これらのご意見等に対する考えや説明を文書で返送いただくよう、期限を設けてお願いしたいと思っている。

A理事から文書が返送された場合には、その文書を理事の皆様へ送付し、皆様からご意見等をいただき、事務局で集約した上で、次回の理事会においてこれらの件について再度ご検討いただき、理事会として一定の結論を出していただければと思っている。また、文書が返送されなかった場合にも、同様に次回の理事会において一定の結論を出していただければと思っている。

(理事) 次回の理事会で結論を出すとの案だが、次回まで待った場合、再エネPTとして今年度の事業を行う時間はあるのか。時間がなければ、ここでリーダー交代などの案も考えられるのではないか。

(理事) 私には再エネPTチームの方針やリーダーの考えがわからない。事業計画について昨年度再エネPT内で話し合いはしたが、リーダーが提案を受け入れてくれない。

(理事) 協議会の規約にはPTリーダーの交代について記載がないので、理事会の場でリーダー交代について決定することはできないのではないか。

(会長) 再エネPTの今後の方針については、持ち帰ってチーム内で検討してほしい。

(理事) 次回の理事会は来年度の事業を検討するタイミングなので、チームで検討していただきたい。

(事務局) 先程も説明したが、事務局としてはA理事の考えや説明を聞くことも必要であると考えている。このため、今回の理事会の内容をA理事へ文書で送付し、回答があれば理事の皆様へお知らせして、次回の理事会で改めて検討していただき、理事会として一定の結論を出していただきたいと考えている。また、再エネPTの活動については、次回の理事会で再エネPTからの報告及び来年度の事業計画などを勘案して、今後の再エネPTのあり方について改めて検討していただきたいと考えている。A理事への対応及び再エネPTの今後の方針等については、理事会として了承していただければ、このように進めさせていただきたいと考えている。

(会長) A理事への対応及び再エネPTの今後の方針等については、事務局が提案した進め方で一任してよろしいか。

⇒ (異議なし)

(会長) それでは、事務局でそのように進めていただきます。

③ 議題3 横須賀市地球温暖化対策地域協議会規約改正（素案）について

- ・事務局が資料1に沿って規約改正の主旨及び改正内容案について説明した。
- ・今回の理事会等で理事の方から意見を伺い、次回の理事会において、改正最終案を示し、平成30年度の総会で規約を改正したい旨を説明した。
- ・質疑応答は次のとおり。

(理事) 第6条にリーダーとサブリーダーの決定方法について明記してはいかがか。また、リーダーの解任やリーダーの任期についても明記した方が良いのではないか。

- (理事) リーダーの任期については、理事の任期が2年であることから、暗黙の了解でリーダーの任期も2年だと考えていた。任期等について明記すべきだと思う。
- (理事) 第12条に理事会の定足数について追記しているが、2分の1以上は厳しいのではないかな。もし理事会が成立しない場合はどうするのか。
- (事務局) 定足数に懸念がある場合は、委任状等の提出による方法もある。
- (理事) 出席理事が定足数ギリギリで、もし急遽欠席してしまう場合は、理事会の開催が延期となるため、委任状の提出という方法も追記してほしい。
- (会長) 第17条の出納閉鎖期間の記載は必要なのか。どのような状況を想定しているのか。
- (事務局) 3月に実施した事業等の支払い、また、一般的には3月分の光熱水費などを4月に支払うケースなどがある。出納閉鎖期間の記載があれば、3月までに支出決定まで行っていれば年度替わりの4月に支払いできることになるが、案として提出している「5月末」というのは閉鎖期間が少し長いかもしれない。
- (理事) 環境教育・環境学習PTの春休み子ども環境体験教室は、3月末に実施されるため、出納閉鎖期間は記載した方が良いと思う。
- (理事) 第15条の「横須賀市専決規定を準用する」という記載では、私たちは横須賀市の専決規定の内容がわからない。どういった内容なのか。また、なぜこのように改正するのか。